

教材活用シリーズ 第122回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果を得られるポイント（場面・方法）などをご紹介します。

「いのちの詩」など豊富な作品を
カテゴリー別に掲載！

(株)教育同人社

改訂版『音読の森』1～6

監修 大越和孝・藤田慶三



(株)教育同人社 編集部

1 はじめに

本教材は、小学校の国語教育において、教科書の進度や学年にとらわれず学習でき、豊かな日本語を声に出して味わえる作品を集めた音読教材です。インクルーシブ教育を見据え、工夫をちりばめた教材となっています。

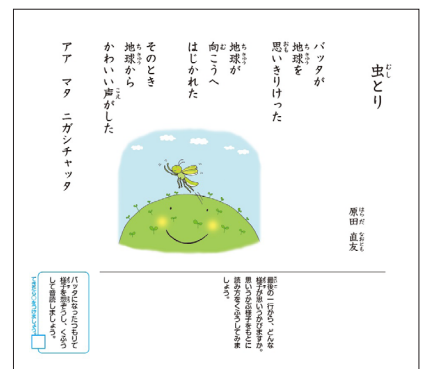
2 特長

□ ユニバーサルデザインを意識

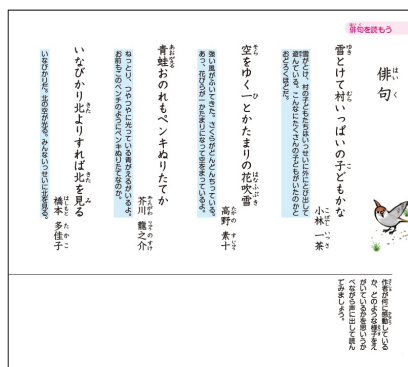
本教材は、より読みやすく見やすく学習を進められるよう、工夫をしています。

★総ルビ対応で「読むこと」への負担感を軽減
音読教材は、読む練習、声に出して表現することを目的としています。漢字の読み方であって本来の学習のねらいのさまざまにならないようにしました。(図1)

★高学年では旧かなづかいで日本文学に触れる機会を
短歌や俳句、文学作品など一部旧かなづかいが原文のまま掲載し、読み方のルビをつけ、日本文学の味わいを残しながらだれでも読める工夫を取り入れました。



▲ (図1) 総ルビで読みやすく



▲ (図2) 現代訳の色分け

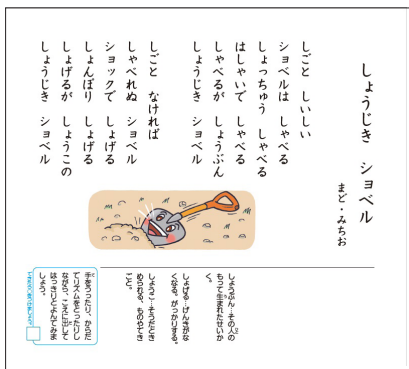
★短歌や俳句の解説を色分けでより区別しやすく
短歌や俳句では、現代訳を色で分けて視覚的にもわかりやすくしました。(図2)

★全学年カラーとなり、より見やすく楽しい誌面に
今回の改訂で高学年向けをカラー化し、全巻きれいなイラストとなり、色分けで見やすい誌面にしました。

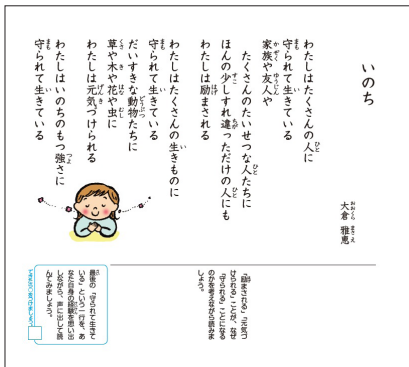
□ 豊富な分野の作品をカテゴリー別で掲載
構成にも工夫

★冒頭は発声練習に適している楽しい言葉遊び
どの教材とも、はじめに口の動きの練習を意
識できるものや、楽しく読める作品を集まし
た。(図3)

▼(図3) 発声練習、口の動きの
練習を意識した冒頭



▼(図4) 「いのちの詩」 生死を
考える作品も扱った



★いのちの尊さを味わえる「いのちの詩」の
コーナー

いちばんの特徴としては「いのちの詩」のカ
テゴリーが挙げられます。人を想う気持ちや命
を大切に思う心を育む作品を集めました。児童
の発達段階に応じて、生き物の生死についても
考えることのできる作品なども取り上げてい
ます。(図4)

★古文、漢詩、落語などの古典文学や物語、小
説の冒頭なども掲載

中学年向けからは俳句や落語、漢文、古文な
どの古典文学も登場します。言い回しが難しい
語には注釈もつけ、リズムを楽しみながら内容
もわかるよう工夫しています。

また、文学作品や著名な小説の冒頭、読んで
おきたい作者の作品などもあり、詩だけではな
く音読できる構成になっています。

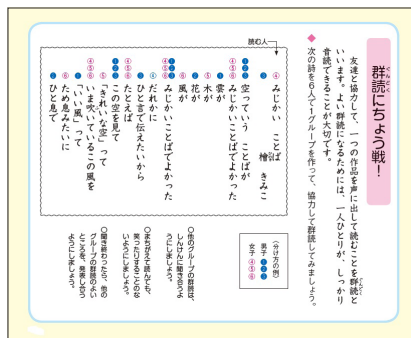
そのほか、季節毎の美しさや装いを比べな
がら読める四季の詩のカテゴリーや唱歌など
があり、作品は1ページか2ページ見開きで
おさめ、本を開いた状態で読めるようにしま
した。

□ 「群読」のページを新設(高学年向け)

また、高学年向けには群読のコーナーを新設
しました。(図5)

音読は個人で味わうだけでなく、グループで
工夫しながら読むことも大切です。作品の内容
を理解し、役割分担をしながら読み分ける学習
ができるようにしました。

▼(図5) 「群読にちょう戦！」の
コーナーを新設



3 教師用指導書も充実

本書には、児童用書のほかに、教師用指導書
がついています。

授業で扱う際の学習のねらいや作品につい
ての解説、音読指導の際に気をつけたいポイン
トや児童への声かけ例など、初めて出会う作品
でも負担感なく指導できるきめ細かいヒント
を掲載しています。

どの作品にも最後にふりかえりコーナーを
設置、教師用指導書にある学習のねらいに沿っ
たふりかえりができるようにしています。

4 最後に

教育同人社では「全ての子どもに、もっと教
育を」を理念に掲げ、誰でも使いやすく先生の
指導しやすい教材作りにこれからも邁進して
まいります。